

## マンホールカードの配布開始直後の在庫切れへの対応について

G K Pでは、一部のマンホールカードにおいて、配布開始まもなく在庫切れとなってしまう、S N Sなどに不満が寄せられてしまう状況があることを把握しています。

当初の発行枚数を増やすべきとのご意見も見られますが、G K Pとしましては、マンホールカードは自治体の限られた予算の中で対応していただいております。予算が潤沢ではない自治体も含めてより多くの自治体に参加していただきたい取り組みであることから、単純な課題ではないと認識しております。

またマンホールカードの趣旨として、配布開始時にのみ一時的に人が集中してしまい、その後は受け取りに来ていただけない、という状況は望ましくないと考えており、G K Pとしましては、長期的かつ定期的に配布を続けていただくことが重要と考えています（例えば、年度当初に一定数を発行し、これを毎年行っていただく方式）。

これらの状況を踏まえ、具体的な対応を検討するため、近年発行されたマンホールカード（第18～21弾）の発行ロット数を基に分析を行い、以下の方針で進めさせていただきたいと考えております。なお、令和8年度以降は最新の状況を鑑みて再度検討します。

関係各位におかれましては、何とぞご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 記

- ・令和7年度においては、関東、中部、近畿ブロックのカードについては、登録条件として、発行当初時に2ロット以上配布可能となるよう準備することとする。ただし、配布場所が島しょ部であるなど、特別な事情がある場合を除く。
- ・令和6年度（第23弾以降）においては、関東、中部、近畿ブロックのカードについては、発行当初時に2ロット以上配布可能となるよう準備することを要請する。

以上

### 【参考】分析結果（別添参照）の概要

- ① 全てのカードで起きている問題ではないため、発行時に2ロット以上を義務付けるなど、全国一律に対応を求めることは過剰な対応であり望ましくない。
- ② 現状を踏まえると、発行当初時直後に在庫切れが起きやすいのは人口の多い関東、中部、近畿地方のカードであるため、これらの3ブロックを対象に対応を検討する。ただし、配布場所が島しょ部であるなど配慮すべき事項もある。
- ③ 具体的な対応策は、発行当初時のロット数を多くしていただくこと。その数については、現在でも多くの自治体ではその後比較的速やかに増刷して適切に対応していただいていることから、2ロット程度であれば無理なく応じていただけるのではないかと期待できる。

【別添】 マンホールカードの分析結果について

近年発行されたマンホールカード（第18～21弾）について、発行当初時以降の増刷ロット数、在庫切れ状況等のデータを基に分析したところ、以下の状況が確認できた。

（1）発行当初のロット数が2以内だと長期在庫切れが起きる可能性がある。逆に3ロット以上だと、長期在庫切れが起きにくい。発行当初に3ロット以上印刷した上で長期在庫切れが起きているのは1枚のみである。

発行当初のロット数	問題なし	在庫切れ有	長期在庫切れ	合計
1	24	23	5	52
2	33	11	4	48
3	7	2	1	10
4以上	15	2	0	17
合計	79	38	10	127

第18～21弾の127枚のカードの分析結果

※「在庫切れ有」とは調査時点で確認できる範囲で在庫切れが起きたことを指し、「長期在庫切れ」とは、調査時点で在庫切れ、かつ、過去1年以上増刷がないカードを指します。

（2）発行当初のロット数が1のカード52枚のうち、直後に増刷しているカードが17枚あるなど、状況に応じて速やかに増刷することで対応していただいている。

1ヵ月後	2ヵ月後	3ヵ月後	4ヵ月後以降	増刷なし
17	6	5	10	14

（3）地域別に分析してみると、長期在庫切れとなっているカードは全て関東、中部、近畿地方であり、人口の多い関東、中部、近畿のカードの人気の高いことが分かる。

※ABCは、各市町の1枚目、2枚目、3枚目に発行されたカードを指します。

関東	あ市A	中部	か市A
関東	い市A	近畿	き市B
関東	う市A	近畿	く市A
関東	え市B	近畿	け市B
中部	お町A	近畿	こ市B

長期在庫切れカード（計10枚）

（4）発行当初時に1ロットで増刷がなくても問題が起きていないカードもある。すなわち全てのカードで同じ問題が起きている訳ではないことが分かる。

東北	イ町A	北陸	ホ市A
東北	ロ市C	北陸	へ市B
東北	ハ市A	九州	ト市B
北陸	ニ市A		

総発行数がまだ1ロットで、かつ問題なしのカード（計7枚）